



～目指す姿～（研究テーマ）
 かかわりを通して、自ら考えを深めていく児童の育成

	評 価 項 目	学 校 評 価 基 準
成 果	<ul style="list-style-type: none"> ○研究テーマに関する学年部の目指す姿に達することができる。（職員） ○ワークテスト（国・算）の平均点が85点以上の児童が多くなる。（職員） ○自ら進んで家庭学習に取り組む児童を増やす。（児童アンケート） 	<ul style="list-style-type: none"> ・学年部で設定した目指す姿を達成したと答えた職員の割合が、 A：全体の70%以上 ・ワークテスト（国・算）の平均点が、 A：全校で85点以上 ・児童アンケートで「自ら進んで家庭学習ができた」と答えた児童が A：全校で80%以上
教 育 活 動	<ul style="list-style-type: none"> ○目指す児童を育てるために、単元構成を工夫するとともに、手立てを講じた授業改善を計画的に行う。（職員） ○学校で統一した家庭学習の取組を実施する。（児童アンケート） 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業改善に計画的に取り組んだ職員の割合が A：全体の90%以上 ・家庭学習の取組についての学校の方針が分かり、「学年×10分」の家庭学習を行った児童が、 A：85%以上
運 営 活 動	<ul style="list-style-type: none"> ○主題に即した授業改善に取り組み、成果と課題を明らかにする。 ○家庭学習についての全校で統一した取組の作成と、職員研修の実施（研究推進委員） ○懇談会やおたよりを通して、家庭学習の取組について、家庭との連携を強化する。（職員） 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員アンケートで「意欲的に授業改善に取り組み、成果と課題を明らかにした」と答えた職員が A：80%以上 ・家庭学習に関する学校全体の取組の提示と見直しを A：実施した ・保護者アンケートで「学年×10分」の家庭学習を行ったと答えた保護者が A：85%以上